

東日本大震災県外避難者西日本連絡会 まるっと西日本

2011年11月発足～2014年3月現在
まで

2

関西における 情報配信支援

避難者の
発掘

支援者と
つながる

マスメディ
ア
と
つながる

避難生活
の意向調査

3

読者の募集

4

情報を集める

2011年11月～2013年3月

- チラシを配布し、読者を募集
- 支援情報をかき集める（検索エンジンで）
- 支援イベントの主催者へ自己紹介する（営業活動）
- ひたすら検索し、役立つ情報を探す。
- 交流会へ行って読者に登録を呼びかける（営業活動）
- 他団体がチラシをまいてくれる。（大阪弁護士会、NPO など）
- 色々な団体が情報を送ってくれる。（2013年～）
- まぐまぐでバックナンバーを
<http://www.mag2.com/m/0001367330.html>

5

「週刊・支援情報メールニュース」

低コスト（大量一斉サーバー）
タイムリー
広範囲

- 情報を選ばない
- できれば電話か訪問で確認を
- 支援情報なのかどうか
- 主義主張しない
- 関西広域に支援する
- 全ての支援活動の応援
- 登録を促す営業活動
- 編集ボランティア
- 広報に時間をかける
- ……続ける

6

情報支援活動(1~8まで)

活動 in Kansai

- 1 週刊・支援情報ニュースの配信
- 2 情報紙の発行
- 3 Twitterでの情報発信
- 4 支援情報データベースの構築
- 5 学会発表
- 6 避難者意向調査（/年）回答者数 124
- 7 公営住宅への無償入居期限調査（2011年1月～2014年1月）
- 8、大阪ガス株式会社CSR部門、大阪弁護士会、大阪民医連などと連携
- 8、交流会
- 10、生活相談と安否確認



7

どんな情報を掲載する？

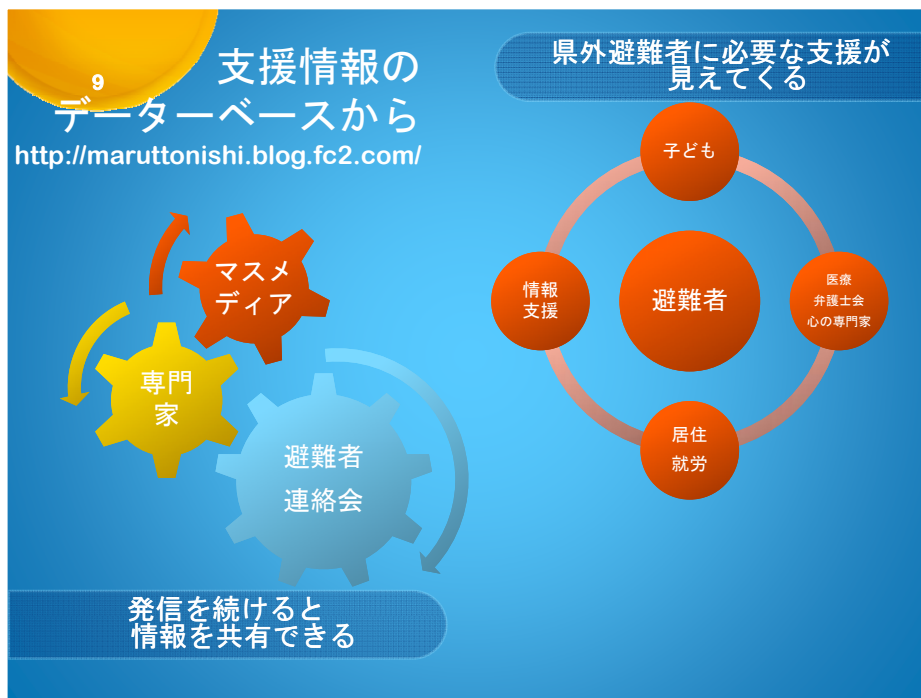
- NPOやボランティアの支援イベント
- 兵庫県民医連、大阪府民医連の甲状腺検査などの医療検査や医療相談
- YMCAや大学などの子どもへの支援
- 行政のWEBサイトを5回クリック
- 大学の講演会やシンポジウム、講演
- 大学生の子どもと遊ぶボランティア活動
- 大阪弁護士会の相談支援や裁判情報
- 産業カウンセラー協会など心のお悩み相談
- NHKスペシャルなどの報道や特集
- ほかの避難者の会について
- 支援を受けた人のレポート
- 各紙の新聞記事のリライト記事
- 地元の行政が行っている支援情報
- 避難者、支援者のインタビュー記事

8

専門家へ情報を提供

- マスメディアに
- 日本居住福祉学会へ
- 大阪弁護士会、兵庫県弁護士会有志へ
- 大阪府民医連、兵庫県民医連へ
- 教育委員会、大学などへ
- 支援団体へ





10

メールニュースとつながったもの

- 読者に新聞記者等メディア関係者
- NHK大阪「関西ラジオワイド」
県外避難者特集（毎月）
- MBSラジオ「ネットワーク1.17」阪神淡路
大震災から続く明日の防災を考える防災番組
- 他団体、支援団体のイベントやシンポジウム
- 日本居住福祉学会

11

情報支援活動にどんな意味があるのか。

- 読者に新聞記者等メディア関係者＝すぐに番組や記事ができる＝
関西の普通の人に震災や事故についての認知度を高める
- NHK大阪「関西ラジオワイド」県外避難者特集（毎月）
- 避難者を発掘＝つなぐ＝孤立させない
- 支援団体や他団体の広報を行う＝避難者が集う＝支援が活発に。
- どんな支援が効果的だったのか記録を残しておく＝後世へつなぐ
- 国の復興と人間（被災者）の復興はべつ（阪神淡路大震災から）

12

調査

- 避難者向け公営住宅入居期限調査
受け入れ自治体による格差
2015年3月末が期限
報道による避難者の分断
支援格差
被災地から遠いゆえに震災と事故についての認知が低い
- 避難者向け意向調査
どんな支援が有効か、不要か

This program brought to you by 東日本大震災復興支援財団

INDEX

▼各地のニュース

・大阪府下避難者支援団体等連絡協議会（ほっとねっと大阪）の定例会が大阪市内で開催 就労支援を受けている県外避難者が避難生活と就労について語る

▼メディア

▼支援情報

▼お知らせ 奈良で8月 ホームステイ&キャンプが開催されます。「スタッフには避難してきた移住者も多く今回のキャンプで移住や定住に 対してのつながりや相談にもものっていきたいと思っています。」 主催「やまとのだいち」の天地さん

1. ニュース

▼7月17日(火) 大阪弁護士会館にて大阪府下避難者支援団体等連絡協議会（ほっとねっと大阪）の定例会が開催されました。

ほっとねっと大阪は、大阪府社会福祉協議会、避難者支援に関心の高い各市町村社会福祉協議会（門真市、大阪市、箕面市など）NPO法人、ボランティア団体など、大阪府下の避難者を一致団結して 支えていこうと隔月ごとに定例会を開き、情報交換や、支援のあり方、どのような支援がかりについて話し合われています。

この日は今年度、大阪府の就労支援を受けている20名近い避難者が参列し 避難生活や就労支援について語りました。

福島県からお子さんと二人で避難した男性は、就労支援事業と、公営住宅の 入居があるからこそ、生活の再建ができつつある、もし住宅がなければ 再建には至らない。支援があることに心から感謝すると述べていました。

また、福島県から避難した女性は、出産数ヶ月の乳幼児を連れて逃げたものの どうしていいかわからず、ひきこもりの状態だったが、支援ニュースを通じて 就労支援事業の説明会があることを知り、乳幼児がいても参加したが、結局 保育所の入所が認められず一時預かりをお願いしながらの就労支援だった。仕事を通じて他の避難者と出会い、一人じゃないということに支えられた。避難によって夫の給料が激減したが、就労支援事業が家計を助けてくれたが、3年目の2013年になってからやっと保育所の入所が認められた結果 やっと就労支援をま

もに受けられるようになった。就労支援事業が保育とセットで展開されることの重要性を 訴えました。

福島県から避難した女性は、「就労支援事業を通じて住んだ事のない関西で仕事を紹介され就職ができた。周囲の優しさに助けられて心から 感謝している」とのべ、受け入れてくれた雇用促進住宅 八尾市の社会福祉協議会は日赤からの支援の家電が届くまで 老人用のお弁当の手配を女性に手配し、毎日二食のお弁当が配達。避難した子ども用のおかしの詰め合わせや市民からのプレゼントを受け取りその配慮に心から感謝していると述べました。受け入れた職場では一生懸命頑張っている彼女は周囲に人気がありました。2012年にこれからどうするの?と聞くと「私が出来る事は、大阪で頑張って働いて、大阪に恩返しすることかな!」 といって笑いました。

福島から子どもと避難した女性は、子どもに攻撃やいじめが起きた事を告白。お子さんはいじめられながらも、津波で友人を失っており、自分が死ぬ訳にはいかないと日々耐え抜いて筋トレをしながら学校に通ったといいました。職場を8回も代わったり、就労先でも嫌がらせを受けて、公営住宅の入居や 就労支援事業については「家や仕事が無料でええなあ」と周囲の理解は得られないことに何度も傷ついたといいます。ここにいる支援団体の人は関心が高く、色々な話を聞いてくださるが、どこでもこうあるわけではなく、一般の普通の人には理解されにくいことも 支援団体の方には知って欲しいと告白しました。

また、大阪市社会福祉協議会が夏、冬に走らせている帰省バスは 家族が福島へ帰省するために利用している支援、これについて心から感謝していることをこの場でみなさんに感謝の言葉を絶対に言いたかったと、会議が終わった後教えてくれました。

震災や原発事故の影響について、県外避難者が数多く関西にたどり着いた事や 災害救助法による支援があることなどは、関西の一般の人にはまだまだ 知られていないことや、茨城県から避難した男性は、避難直後に配布されたお弁当には、ソースや 味付けのないお弁当が日々配布されたが、それを配られたその場所では みんな不思議に思いつつも言わなかった。言えなかった。支援を受けるということは、本当は言いたくてもちょっとしたことも言えない という状況にあるということを知って欲しいと述べました。

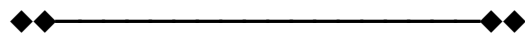
この定例会では、避難者の発掘に成功した箕面市社会福祉協議会の 画期的な活動についての報告もありましたが、次週に続きます。

2. メディア

▼NHK関西ラジオワイド (666kHz)

「県外避難者のみなさんへ」 大阪市立大学公開ゼミ「避難者講演」と支援情報 7月29日(月) 17時15分すぎ NHK ラジオ「らじる☆らじる」 <http://www.nhk.or.jp/r1/> を通じてパソコン、スマートフォンで全国で視聴できます

3. 支援情報



▼訴訟説明会と、訴訟原告団の結成会

【日時】7月27日(土)

第一部午後2時～、兵庫県弁護士による訴訟説明会 第二部
午後3時半～、原告団結成会

【場所】神戸市教育会館

(<http://www.kobekhall.com/kaikanmap.htm>) JR・阪神「元町」駅(東口)より鯉川筋北へ徒歩10分 市営地下鉄「県庁前」駅(東1番出口)より東へ徒歩5分 阪急「三宮」駅(西口)より北西へ徒歩15分

【対象】原発事故を受け、兵庫県内に避難された方、支援者
■アロマ有り、託児有り。

【主催】兵庫県原発被災者支援弁護士

▼【カフェデモンク居酒屋バージョン】

<http://www.fucco-nagomi.com/2013/07/post-37.html> これまで交流会に参加しづかった单身者の方向けの交流会 【日時】7月27日(土)17:00～自由解散 【参加費】飲食実費にて(2000円程度)

【場所】京都市下京区西酢屋町10 キッチンNagomi 2階 京都市バス 七条大宮停留所から徒歩1分

<http://kitchen.fucco-nagomi.com/contact/>

▼「八重ゆかりの地ツアー」 福島県から西日本へ避難されている方を八重ゆかりの地を 巡るツアーにご招待

【日時】7月29日(月) 10時半～ 12時半～

【場所】同志社大学同志社女子大学 詳細はお問い合わせ下さい。

【主催と申し込み】同志社法人部法人事務室
TEL 075-251-3007

▼淀川花火見物会のご案内

【日時】8月10日(土)開場 18:00～(第2駐車場前に集合)
周辺道路の混雑・交通規制があり。交通機関をご利用ください。

【場所】フィットネスクラブ コ・ス・パ 塚本 第2駐車場花火見物会場 大阪市淀川区塚本1-19-12(裏面に地図があります)

【詳細・申込】FAX または電話で、大阪ガスグループ小さな灯運動まで TEL06-6205-4723 FAX06-6231-0403

【主催】大阪ガス株式会社近畿圏部内) 担当 : 川端、愛川

【申込み期限】8月2日(金)まで

▼夏休み工作くるくるレインボー作りと交流会

【対象】3歳から小学校低学年、工作が好きな大人と学生の方

【日時】7月30日(火) 10:30～ 工作タイム 11:30～ 交流

【場所】奈良市民放射能測定所 奈良市学園北2-1-6セブンスターマンション103号室 医療問題研究会奈良事務所内

【参加費】移住、避難ママ無料 一般の方1つ500円

【持ち物】ハサミ 当日子供と遊んで下さる方も二名ほど募集

【申込み】申し込み必要 pecopoco56@i.softbank.jp 【主催】奈良市民放射能測定所

▼避難者のための・・8月のリフレッシュカフェ 子どもと一緒に『こねこねハーブせっけん作り』+お茶会 大学生ボランティアによる用事は別室で託児 小学生は夏休みの宿題

【日時】8月11日(日) 10:00～12:00

【場所】梅文化会館 3階 第3講座室 泉北高速 梅美木多駅 徒歩すぐ

【持ち物】あれば、クッキー型

【主催】生活協同組合エスコープ大阪 TEL 072-293-4660

▼サマースクールへの招待 ～夏だ! 海だ! 輝け希望の子どもたち!～ 当日は看護師2名・臨床心理士1名も同行

【日時】8月16日(金)～18日(日)

【場所】香川県立屋島少年自然の家(香川県高松市屋島東町34-1) いかだ作り、海水浴、宝探し、タイ釣り、うどん作り等

【対象】小学生3年生～6年生

【募集】10名(全90名中) ※先着順

【金額】免除

【申込み】締切7月末日 平野090-1131-8403 林氏
090-6668-7828

【問合せ】社)摂津青年会議所 事務局(平日13時～16時) TEL
072-632-8442

.....

Copyright(C) まるっと西日本 All rights reserved

まるっと編集済みの情報の添付や転送はご遠慮下さい。

直接メールニュースへの登録をお願いします。情報はこちらへ
maruttonishi@gmail.com

.....

2013年11月18日

報道関係のみなさまへ

県外避難者むけ公営住宅 入居期限の調査について

東日本大震災による関西2府4県への県外避難者数は、復興庁まとめで3510人(10月10日)、その半数が公営住宅に暮らしています。その多くが、来年3月末で無償入居の期限を迎えます。

国土交通省の通知などを受け、半数の自治体が「1年延長」の支援を打ち出す一方で、支援打ち切りを決めようとしている自治体があります。

今回、県外避難者連絡会〔まるっと西日本〕では、40余の自治体等の「無償入居期限」の調査を行ったところ、すでに支援を打ち切ったのが大阪府内の1市、打ち切る方針が大阪府内と滋賀県内の各1市。打ち切りの示唆が大阪府内3市、などとなっています。

震災発生・原発事故から3年足らず。避難者の多くは、生活再建も道半ばです。なんとか、無償入居の延長をお願いしたいと、避難者同士で情報交換しようという動きも始まりました。

こうした動きを、ぜひ貴メディアでも取り上げていただき、県外避難者への理解を深めるためのサポートをお願いしたいと存じます。

《県外避難者向け公営住宅 入居期限調査》

【調査期間】2011年11月11～13日

【調査方法】各自治体の住宅等担当者への電話ききとり

【調査対象】今年度始めに県外避難者が入居していることが確認された
関西2府4県の府県、政令市、市あわせて42自治体と1団体。

【実施主体】東日本大震災県外避難者西日本連絡会〔まるっと西日本〕

【お問い合わせ担当】

〔まるっと西日本〕 古部真由美（代表世話人）

080-4484-0298 maruttonishi@gmail.com

《調査結果の概略》

焦点は、「3年を超えての延長」に踏み切るかどうかです。今回の調査結果は下記の通りですが、今後、判断を変える自治体もありますので、詳細は別添の表にある各自治体に直接取材してご確認ください。

◎3年を超えての延長をすでに決定<1府、6市、1団体>

京都府、京都市、大阪市、堺市、神戸市、西宮市（4年まで延長）

三木市（入居から5年に更新時期を設定）

雇用促進住宅（岩手、宮城、福島、茨城、栃木からの避難者、ほかは×）

○延長を検討中<4府県、6市>

大阪府、兵庫県、滋賀県、和歌山県、

豊中市、和歌山市、福知山市、明石市、宝塚市、三田市

△未定・府県や近隣市の動向を見て決める<12市>

高槻市、箕面市、大津市、草津市、彦根市、栗東市、豊岡市、伊丹市、淡路市

生駒市（更新時期が来年8月）、五條市（同9月）宇陀市（同6月）、

×に近い△<2市>

吹田市、岸和田市

×延長しない<3市>

東大阪市、高島市、茨木市

※その他

奈良県＝「本来入居」だが、いまのところは全世帯とも無償入居扱い。

泉佐野市＝

すでに支援打ち切り。10月1日付で「一般入居」に切り替わった。

湖南市＝

「一般入居」に切り替わったが無償入居扱い。

市内部で検討して、有償化することになるだろう。

篠山市＝

2015年に3年の更新時期を迎える。

既に全世帯退去＝

尼崎市、丹波市、姫路市、大和高田市

《発生している問題と新しい動き》

▽いつ期限が来るのかわからず、不安な年度末を過ごす。

▽震災後の混乱の中たまたま選んだ自治体によって、支援に差が生じてくる。

▽「意向調査」と称して、いつ出て行くのかを定期的に問われ、精神的な負担に。

こうした問題を解消しようと、[まるっと西日本]では、11月18日から

電話窓口「3・11避難者住宅情報センター」070・5346・9311

を開設しました。入居者同士の情報共有を通じて、孤立感を解消し、

支援の継続をいっしょに考えます。

3.11避難者住宅情報センター <http://311jyutaku.jimdo.com/>

住宅に関する書類や情報をアップしていきます。

<資料> 県外避難者「公営住宅入居期限」調査

◎3年以上の延長を決定、○検討中、△府県や近隣市次第、×延長しない。赤い網掛けが延長に“前向きでない”回答の自治体。

<NHK関西ラジオワイド・まるっと西日本2013年11月11日～13日調べ>

管理自治体名	延長の可能性	担当課	回答者名	電話	現在の入居期限	コメント
大阪府	○ なるべく早く結論をだしたい。	危機管理室 災害対策課 災害対策グループ	中筋さん 応急仮設住宅の事務担当	06-6944-6478	今のところ入居から最大3年間だが、1年延長を検討中。	国からの文書(4月)で、自治体の判断で延長できているので、延長を検討している。
大阪市	◎	都市整備局 住宅部管理課	真鍋 市営住宅係長	06-6208-9261	2015年度3月末<10月15日付で決定>	被災県からの要請が基本的に。できるだけ急いで配慮した。
堺市	◎	住宅管理課	高田課長補佐	072-228-8343	2015年3月末日まで<2013年5月20日 決定>	
京都府	◎	府民生活部防災・原子力安全課 支援対策本部	細野 担当課長	075-414-5930	入居から最長4年<2013年の4月決定済み>	4月2日国交省等の通知、被災県にも意向を事務レベルで聞いた。
京都市	◎	住宅政策課	寺沢課長	075-222-3666	入居から最長4年<2013年4月に決定済み>	国の通知、被災県からも要請あった。
滋賀県	○ 年内には延長を決めたい。	住宅課 公営住宅担当	浅見さん<被災者受け入れ担当>	077-528-4234	2014年3月	京都や大阪は応急仮設住宅という扱い、うちは目的外の使用許可で、被災県に請求はできないしくみ。入居者にはヒアリングしてどう思っているか、10月中にきいた。県内に8世帯いる。
兵庫県	○ できるだけ早く年内にも延長決めたい。	住宅管理課 団地支援係	紙谷(かみたに)	078-230-8470	入居から3年	被災3県からもう1年の延長依頼が来ている。
神戸市	◎	都市計画局 住宅管理課	番匠(ばんしょう)さん	078-322-6626	2015年3月31日まで<10月25日決定>	被災県の依頼があった。
奈良県	※	住宅課 総務管理係	瓜阪係長	0742-27-7544	期限決めていない	※2013年3月に「本来入居」に切り替えたが、いまのところ全世帯、有償にせずは無償。他府県が無償提供をなくすときと、収入が一定額を超えるときに有償化を考える。
和歌山県	○ 担当課としては年内に延長の結論出したい	建築住宅課 県営住宅担当	小高(おだか)さん	073-441-3210	2014年3月から5月で期限くる(6世帯)	被災県からの要望があったのが根拠
東大阪市	× 考えていない	住宅政策課	藤田さん 入居者管理担当	06-4309-3231	2014年3月31日	去年の12月に無償入居の打ち切りを「2014年3月31日」と決定した。老朽化した他の市営住宅の移転受け入れ用の住宅なので、出ていっていただく。強い延長の要望があれば別だが、いまのところそうした声はない。
吹田市	△府県や近隣市の動向次第	住宅政策室	管理担当主査 遠藤さん	06-6384-1923	今の段階では昨年の決定通り「入居してから最大3年間」。	4世帯、国の国家公務員宿舎に2世帯。
豊中市	○府が決定すれば延長	町づくり総務室住宅チーム	チーム長 岡本さん	06-6858-2397	2014年3月	府からは2015年3月まで延長してほしいという文書が来ている。府の決定が出れば、延長する。
高槻市	△ 早めに決定したい年内にはと考えている	住宅課	吉川副主幹	072-674-7525	2014年3月31日	
箕面市	△ いつごろはいえない	建築住宅課	参事 玉手さん	072-724-6719	2014年4月13日	1世帯のみ入居。
茨木市	× 「なるべく早く、ともいえない」	建築課	中上係長	06-620-1653	2014年3月	2世帯。
泉佐野市	×	建築住宅課住宅係	鐘井(かねい)課長	代表072-463-1212		1世帯。10月1日付で、被災者の「目的外入居」から「一般入居」に切り替え済みで有償になった。「世帯の状況の変化。条件を満たしたから」。
岸和田市	×に近い△	建築住宅課	黒石参事	072-423-9517	2014年7月	1世帯。7月に期限が来る。3年を限りにしたい、岸和田にこのまま居住したいなら有償にしたい。
高島市	× の方針	土木部都市計画課	中村主査	0740-22-0904	2014年3月10日	2世帯。3月11日には有料入居にする。

大津市	△ 県の通知を受けて	住宅課	西村主任	077-528-2786		3世帯。
草津市	△ 県が決めたら迅速に決めたい(○に近い△)	住宅課	グループ長 有村さん	077-561-2395	2014年3月末	
彦根市	△ 県や全国の動向みて	住宅管理室	南副主査	0749-30-6123	2014年3月末	1世帯。
栗東市	△	土木管理課住宅係	赤井住宅係長	077-553-0347	2014年3月末	3世帯。
湖南市	△ 県の発表を受けたいで、諮問機関等にかけて判断する。	住宅課	西岡課長補佐	0748-71-2349		市内部で検討して、有償化することになるだろう。
和歌山市	○ 決定ではないが延長の見通し	住宅第一課	管理班職員 久野(くの)	073-435-1098	2014年2月(半年更新)	1世帯。
福知山市	○ 年明けには	建築課	主任 田中さん	0773-24-7053	2014年3月31日	5世帯。
明石市	○ 延長するつもりです。	住宅課	入居担当 山本さん	078-918-5076	2014年3月10日	1世帯。
姫路市	※	住宅課	的野さん	079-221-2632		※11月上旬に退居。0世帯に。
西宮市	◎	住宅管理課	上田課長	0798-35-3661	2015年3月末までに決定(11月1日付)	3世帯。
宝塚市	○ 極力被災者には手厚くする方針	すまい政策課	新元(にいもと)課長	0797-77-2018	2014年3月	8世帯。
三田市	○	住宅政策課	石橋	079-559-5103	2014年3月末	1世帯。国から通知もあって近隣の市の状況も見て考えたい。
豊岡市	△	建築住宅課	安藤課長補佐	0796-21-9018	2014年3月末	1世帯。
伊丹市	△	住宅政策課	小山主査	072-784-8061	2014年3月末	3世帯。
淡路市	△	都市計画課	松下特命参事	0799-64-2533	2014年3月末	2世帯。
篠山市	2015年まで期限がこない	地域計画課	中筋課長	079-552-1118	入居から3年(早い人で24年入居、27年2月期限)	6世帯。
丹波市	※	都市住宅課住宅係	住宅係 亀井さん	0795-74-2364		※2013年9月に退居。0世帯。
尼崎市	※	住宅管理課	管理担当 長本さん	06-6489-6632		※2013年4月に退居。0世帯。
三木市	◎※	建築住宅課	鳴滝(なるたき)特命課長	0794-89-2364	※入居から5年まで延長済み。	6世帯。
生駒市	期限の8月の前に検討する。	施設整備課	大神(おおがみ)係長	0743-74-1111	2014年8月 1年更新	1世帯。
大和高田市	※	建築住宅課	村上さん	0745-22-1101		※2013年5月29日に退居。0世帯に。
五條市	まだ不明。期限の9月を前に検討	建設課住宅係	辰巳さん	0747-22-4001	2014年9月11日	1世帯。
宇陀市	期限の6月が近づいたら検討。	公営住宅課	島田主任	0745-82-5642	2014年6月末	1世帯。
雇用促進住宅	岩手、宮城、福島、茨城、栃木からの避難者は◎、他は×	厚労省 職業安定局 総務課	平山さん	03-3502-6768	岩手、宮城、福島、茨城、栃木 県内からの避難者は2015年3月末まで。それ以外からの避難者は2014年3月末まで。意向があれば有償で入居。＜10月22日付で通知＞	岩手、宮城、福島、茨城は県からの要請、栃木は子供被災者支援法の適用で。 大阪62世帯、兵庫4世帯、京都0世帯、滋賀4世帯、奈良0世帯、和歌山6世帯入居(9月現在)